

コープみらい「コープ国分寺内藤店」 6月4日(火)午前9時オープン

コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井 ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は、6月4日（火）午前9時に、東京都国分寺市に「コープ国分寺内藤店」をオープンいたします。

コープ国分寺内藤店は、旧ミニコープたまらん坂店を移転、拡大した新店舗で、新しく整備された新府中街道沿いに立地しています。近隣の西国分寺駅周辺にはマンションなどの集合住宅も多く、子育て世代などファミリー層や単身者が多く在住していることから、惣菜などの簡便・即食商品や子育て層を意識した商品を強化しました。このほか、コープならではの「顔が見える」産直商品や産直品を原料にしたこだわりの加工品の品揃え、天井までガラス窓を設置して視認性を高めたライブ感・鮮度感ある売り場づくり（水産・畜産）、また環境面に配慮し食品トレーを利用しない「ノントレー包装」の畜産商品をコーナー化しました。

コープ国分寺内藤店のオープンにより、国分寺市内では「コープ国分寺店」「コープ弁天通り店」に続き3店舗目となります。コープみらい全事業エリアでは、東京都が72店舗、埼玉県が44店舗、千葉県が18店舗、合計134店舗となります。

コープみらいでは、「おいしさ」「健康」「簡便」「即食」をテーマに、コープ商品や産直商品、コープならではのこだわりの商品の品揃えを強化し、「コープのファンづくり」を進めております。

「おいしさと安心を、うれしい価格で。」を店舗事業の基本方針として、消費者・組合員のニーズに合わせた商品を揃え、くらしに貢献し続けるお店づくりを目指してまいります。

なお、当日はオープニングセレモニーを開催いたします。また、店舗の内覧と共に説明会の時間を設けておりますので、ぜひご取材いただけますと幸いです。店舗の詳細につきましては次ページ以降をご参照ください。

■「コープ国分寺内藤店 オープニングセレモニー」概要

日時：6月4日（火）8：40～8：55

場所：コープ国分寺内藤店 1階正面エントランス（予定）

出席者：国分寺市 市長 井澤 邦夫 様、コープみらい 理事長 新井 ちとせ

■「コープ国分寺内藤店 説明会」概要

日時：6月4日（火）9：50～10：20

場所：コープ国分寺内藤店隣接の集合住宅内 ※当日ご案内いたします

出席者：コープみらい・コープデリ連合会 常務理事 店舗事業本部長 永井 伸二郎

コープみらい・コープデリ連合会 執行役員 店舗事業 店舗商品 統括部長（兼） 大川 昌彦

— コープみらい「コープ国分寺内藤店」 店舗概要 —

- 【所在地】 東京都国分寺市内藤1丁目22番12
- 【アクセス】 JR中央線「西国分寺」駅より徒歩約12分



- 【電話番号】 042-505-9591
- 【開店日時】 6月4日(火) 午前9時
オープニングセール：
・第1弾：6月4日(火)～6月7日(金)
・第2弾：6月8日(土)～6月10日(月)
- 【営業時間】 午前9時～午後10時45分
- 【定休日】 1月1日
- 【日商/年商計画】 日商453.3万円/年商16.5億円(初年度)
- 【店長】 斉藤 俊朗(さいとう としろう)
- 【従業員数】 正規14人/パート・アルバイト52人(167時間/月で換算)
- 【敷地面積】 約1,148坪(約3,795m²)
- 【売場面積】 約400坪(約1,323m²)
- 【駐車場/駐輪場】 駐車場64台/駐輪場130台
- 【商圏人口】 1次商圏(0.5km)約1.0万人 / 2次商圏(1km)約3.6万人 / 3次商圏(2km)約13.3万人



『SDGs』の目標12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する

コープデリ連合会と会員生協は、2015年に国連で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」の実現に、事業と活動を通して貢献します。 ※詳しくはこちら <https://sustainability.coopdeli.coop/>

ーコープ国分寺内藤店の主な特徴ー

◆農産

- ・カットサラダを中心に、即食・簡便、少量・バラ売り商品を強化します。
- ・果実は、豊富な品揃え、味へのこだわりを訴求した売場づくりを行います。
- ・有機 JAS コーナーやコープデリの産直産地「JA甘楽富岡（群馬県）」コーナーなど、コープならではの産直野菜・有機野菜をアピールします。

◆水産

- ・天井まで拡大したガラス窓を採用し、見える安心と美味しさを提供します。作業場はオープンキッチン化し、鮮魚品などの調理依頼や食べ方など、お客様とのコミュニケーションを図れるようにします。
- ・旬な魚とお造りは、季節感と品揃えの豊富さを追求しています。原料にこだわったコープのまぐろをぶつや切り落としなどの簡便品で主力展開します。
- ・豊洲市場をはじめコープこだわりの水産品をネタとして使用した「魚屋の鮭」や、旬の魚・産地にこだわった素材を使った「魚屋の惣菜」を展開します

◆畜産

- ・好評をいただいている、国産米を飼料に配合して育てた「産直お米育ち豚」を核商品として、おいしさや食料自給力向上への貢献などの価値をアピールして利用につなげます。
- ・簡便即食品の需要に対応し、コープの産直肉を使った焼くだけ・炒めるだけの味付けの手間がいない商品を各畜種で品揃えし、コーナー展開します。
- ・抗生物質・抗生抗菌剤不使用の「産直げん気鶏」をコーナー展開し、カット済みの簡便商品も配置します。
- ・環境に配慮した、従来の食品トレーを利用しない「ノントレーコーナー」を配置します。
- ・天井まで拡大したガラス窓を採用します。見える安心と美味しさを提供します。

◆惣菜

- ・惣菜・ベーカリーを中心に「デリカゾーン」を形成し、弁当やおにぎりなどの売り場を配置して買いまわりしやすいレイアウトを追求します。「レンジ」分類の品揃えを強化し、温めればすぐに食べられる主菜やおかずを増やします。また、カレーバイキングを導入します。
- ・衛生面を考慮し、揚げ物や焼き鳥などのバラ売り商品は扉付き什器で取り扱います。
- ・「産直じゃがいものポテトサラダ」や「産直若鶏の唐揚げ」など、コープならではの産直原料を使った惣菜を提供します。

◆ベーカリー

- ・コープのベーカリーセンターで製造したこだわりのチルド生地のパンを提供します。低温長時間熟成（発酵）により小麦の美味しさを引き出したこだわりの商品です。
- ・人気の「サクサク熟旨カレーパン」や「グルメサンドイッチ」など、コープのこだわり商品を展開します。
- ・セミセルフレジを導入し、レジスピードアップとともに金銭授受による衛生管理に配慮します。

◆日配、グロスアリー、その他

- ・コープ商品（PB）のフェイス（陳列棚の正面から見た商品の数）を増やし、コープファンを拡大します。
- ・子育てファミリー層向けに、「きらきらステップ」シリーズ（冷凍離乳食・幼児食）を販売します。
- ・酒売り場では、若年層をターゲットにした RTD（蓋を開けてすぐに飲める缶酎ハイや瓶入りカクテルなど）や洋酒の品揃えを拡大します。
- ・イートイン「コープカフェ」を 34 席設け、お買い物後にゆっくりくつろげる空間を提供します。

《生活協同組合コープみらい 概要》

【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5

【総事業高】 3,898 億円（2017 年度）

【理事長】 新井 ちとせ（あらい ちとせ）

【事業エリア】 千葉県、埼玉県、東京都

【組合員数】 350 万人（2019 年 5 月 20 日現在）

【ホームページ】 <https://mirai.coopnet.or.jp/>